

受験番号 _____

2021年度 一橋大学大学院 言語社会研究科博士前期課程（修士課程）

秋季入学試験問題

第一部門

論文問題

- ・ 試験開始の合図があるまでこの問題冊子を開いてはいけない。以下の注意事項をよく読むこと。
- ・ 一般受験者、外国人留学生受験者、社会人受験者ともに、(1) 論文問題 A 群の出題に、問題文に記されている指示に従って解答し、さらに (2) B 群 (01~13) に出題されている問題から 1 問を選んで解答しなさい。
- ・ 「論文問題 A 群」「論文問題 B 群」につき、それぞれ別の用紙を用いて解答すること。
- ・ 論文問題 A 群への解答に際しては、問題文に記されている指示に従って、問いの番号(問い1、問い2、問い3)を「科目欄」の問題番号記入欄に記し、論述に使用する語群①②からそれぞれ2つずつ選んだキーワードを、解答の前の一行目に記すこと。
(例：語群 ① = ××、□□、語群 ② = ○○、▲▲)
- ・ 論文問題 B 群への解答に際しては、解答用紙の科目欄に、選択した問題番号を記入すること (例:B01、B04 など)。
- ・ 解答に際して用紙 1 枚では不足の場合、試験監督員に申し出て追加配布を受けること。
- ・ 本冊子は持ち帰ってはいけない。上部の受験番号欄に必ず受験番号を記入しなさい。

A 群

問い 次の語群①②から、それぞれ単語を2つずつ選び、それら4つの単語すべてを論旨と密接にかかわるキーワードとして用い、下の問い1～3のいずれかに答えなさい。

解答に際しては、どの問いと単語を選択したか、問題冊子表紙の指示に従って記すこと。

語 群 ①

仮面 昆虫 小麦 堤防 ガラス

歯車 写本 レンタル 教会 レジ袋

語 群 ②

装飾 アイロニー 移動 詩作 未熟

視線 検閲 後世 飛翔 テクノロジー

問い1 「変化する」とはどういうことか、論じなさい。

問い2 「つながる」とはどういうことか、論じなさい。

問い3 「匿名で書く」とはどういうことか、論じなさい。

B 群

01 ドイツ語圏の文学・思想などの任意の言語作品（複数可）を取り上げ、下のテーマのうち一つを選んで論じなさい。その際、取り上げた例に即して選んだテーマについてなるべく具体的に論じること。

- ア) 言語表現の芸術的側面と思想的側面
- イ) 社会の秩序と個人の自由
- ウ) 科学的認識と人間の内面性

02

(ジェルジ・ルカーチ『小説の理論』)。

(エドゥ

アール・グリッサン『フォークナー、ミシシッピ』)。

このふたつの引用を糸口として、近現代における叙事文学の可能性あるいは不可能性について、具体的な作品（複数可）を例示しつつ、自由に論じなさい。ただし、上に引用された著者の思想や引用の文脈等を考慮する必要はない。

03 小説において、ヘンリー・ジェイムズが「視点」と呼び、ジェラルド・ジュネットが「焦点化」として再定義したような語り的手法あるいは設定は、語り手の人称の設定と連携してどのような効果を生み、物語の解釈や登場人物への共感にどのように影響するか。また、小説という言語テキストの分析に視点や焦点といった視覚的メタファーを用いることから、どのような問題が生ずるか。英語で書かれた作品を三つ以上例に挙げながら、具体的に論じなさい（例のうちの一つとして、英語で書かれた小説の映画版を議論に含めても構わない）。

04 19世紀以前、芸術や思想の多量遠隔伝達は印刷が主たる手段だったが、今日、他の遠隔伝達手段が種々生まれている。それらは印刷物と対照して、どのような特性をもっているか、具体的な例を数種あげながら、論述しなさい。

05 消滅しつつある言語（あるいは方言）を記述することのもつ意味を、多角的に論じなさい。

06 一橋大学の最寄駅はJR中央線の国立駅である。1926（大正15）年に開設された旧国立駅舎は、2006（平成18）年に解体された後、保管していた部材を再利用して2020（令和2）年4月に再築された。別の用途で使われていた建物を改修もしくは再築し、新たに文化的施設として活用する事例は近年増えている。こうした事例を2つ以上挙げ、具体的に比較しながら、それらの歴史的意義や問題点を論じなさい。ただし、上記の旧国立駅舎の事例は対象外とする。

- 07 中国ないしは台湾の近現代文学のなかから、「病氣」を題材とした文学作品を取り上げ、その描き方の独自性について論じなさい。
- 08 モンテスキュー、ヴォルテール、ルソー、ディドロのうちから二人を取り上げ、具体的な作品に言及しつつ、思想や作品の特徴を対比的に論じなさい。
- 09 以下の文章を読んで、下線部分について論じなさい。筆者の意見に反論してもよい。あなたなりに「近代文学」の定義を明確にするとともに、具体的な文学作品に即して論述すること。

(柄谷行人『近代文学の終り』)

- 10 解釈学 (hermeneutics) とは何であり、詩学 (poetics) とは何であるかを定義したうえで、任意の文学作品についてその二つの視点から論じなさい。あわせて、その論をふまえて、解釈学と詩学が取り結ぶ関係とそこから発生する文学 (批評) 理論上の問題について論じなさい。
- 11 「詩的なもの」(文学ジャンルの「詩」には必ずしも限定されない) と「幸福」との関係について出来るだけ具体的に記述してください。その際に両方の言葉を自分なりに定義づけてください。
- 12 近代化と日本文学の関係について、具体的な事例を挙げながら考察しなさい。
- 13 音楽と静寂との関係について具体例とともに述べなさい。